

新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況等について (第 22 報)

新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況等については、下記のとおりです。

記

1. 接種の状況について (2月15日時点)

○初回接種(1・2回目)

	1回目接種		2回目接種	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
全体 : 174,693 人*	145,646 人	83.4%	145,030 人	83.0%
うち 60 歳以上 : 62,710 人	62,018 人	98.9%	61,753 人	98.5%
うち小児(5~11歳) : 11,423 人	4,209 人	36.8%	4,123 人	36.1%
うち乳幼児(6か月~4歳) : 6,609 人	314 人	4.8%	264 人	4.0%

○追加接種(3回目、4回目、5回目)

	3回目接種		4回目接種		5回目接種	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
全体 : 174,693 人	121,717 人	69.7%	83,489 人	47.8%	42,314 人	24.2%
うち 60 歳以上 : 62,710 人	58,732 人	93.7%	52,595 人	83.9%	37,753 人	60.2%
うち小児(5~11歳) : 11,423 人	1,258 人	11.0%				

うち、オミクロン株対応ワクチン接種

	3~5回目接種	
	接種者数	接種率
全体 : 174,693 人	79,518 人	45.5%
うち 60 歳以上 : 62,710 人	46,928 人	74.8%

※ R4.1.1時点の住民基本台帳における本市の全人口です。

2. 今後のワクチン接種に関する国の検討状況について

○令和4年12月13日 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会

・今後の新型コロナウイルスワクチン接種のあり方について検討を開始。

○令和5年1月26日 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会

・今後の新型コロナウイルスワクチン接種のあり方について議論を実施。
接種目的、接種計画(対象者、回数、時期、ワクチンの種類)等

○令和5年2月8日 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会

- ・今後の新型コロナワクチン接種のあり方に関する技術的検討の結果をとりまとめ

① 対象者

- まずは重症者を減らすことを目的とし、高齢者など重症化リスクが高い方を対象とするが、それ以外の方に対しても接種の機会を確保することが望ましいことから、全ての方を接種の対象としてはどうか。

なお、小児(5～11歳)及び乳幼児(6か月～4歳)は、接種開始からの期間が短いため、当面、現在の接種を行うべき。

(小児：令和4年2月～、乳幼児：令和4年10月～接種開始)

② 接種スケジュール

- 秋冬には次の接種を行うべきではないか。

ただし、今後の感染拡大、変異株の状況や諸外国の動向等を踏まえ、重症化リスクが高い方はもとより、健常な方であっても重症化リスクの高い方に頻回に接触する方には、さらに追加して行う接種の必要性に留意する必要がある。

③ 使用するワクチン

- 現時点では、当面の間、現在使用してる従来株とオミクロン株の成分を含む2価ワクチンを使用することが妥当ではないか。

ただし、今後流行する株の予測が可能であれば、その株の成分のみを含んだワクチンを使用することも考えられる。

○令和5年3月上旬(予定) 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会

- ・基本方針部会における取りまとめを踏まえて、引き続き議論を行い、3月上旬までに最終的な結論を得る。